

## 一般 当初予算編成と菊川未来ビジョンについて

横山 隆一（日本共産党）



単年度収支は3期連続の赤字である。予算編成は、市民要望を的確に捉えた事業であること。今後は、安定した持続可能な行財政運営が重要である。健全財政への取り組みと未来ビジョンについて伺う。

Q 地元企業の活性化は重要であるため「地元企業優先発注等に係る実施方針」の策定は。また、今後の公共施設の更新・維持管理を計画的に進める「施設維持管理基金」創設の考えは。

A 市内小規模事業者の受注機会拡大を目的とした要領やマニュアルにより、地元企業優先発注を心掛けています。基金は、施設の更新・維持等に充て可能なまちづくり基金、地域振興等基金を有効に活用していく。

Q 多額の投資をする菊川駅橋上駅舎化は止め、駅北開発や駅北口改札口設置の検討は。また、市内幹線道路の整備及び東名インター前再開発・西方高橋線延伸の早期実現は。

A 南北自由通路整備事業は、活力あるまちづくりを進めるため必

要な事業である。インター前の再開発は、有効活用について引き続き検討し、西方高橋線は、県と連携し早期の完成を目指している。

Q 新廃棄物処理施設整備等基本構想では、「公民連携案・併せ産廃」の運営方式が示され、地元から懸念する声が上がっているが考えは。

A 有識者による検討委員会を設置し、協議を進めていく。

Q 市長として一年が経過し、菊川市の魅力発信強化を挙げている。改めて菊川市の魅力とは何か伺う。

A 温暖な気候で自然が豊か、交通の便もすばらしくいいまちであるということを自慢し、発信していく。

他に「コンパクトシティ計画」について質問しました。



## 一般 均衡あるまちづくり

須藤 有紀（みどり21）



菊川駅改札橋上化とともに周辺地区の開発整備計画が進められようとしている。駅関連事業も含めた均衡あるまちづくりの取り組みについて伺う。

Q 何のために菊川駅橋上化が必要と考えるか。

A 地方への関心が高まる中、まちの魅力と利便性を向上させ、さらに「住みやすいまち」として選んで頂けるよう、菊川駅南北自由通路整備事業などは必要と考えている。

Q 農業を営む方が多い地域では若者の流出、人口減を不安視する声がある。他市の事例で、利便性を落とさないためにあえて人口集積を行っている例もあるが、地域間の人口差をどう考えるか。

A 若者の流出に関しては、働く場の創出が重要だと考えている。企業誘致にも取り組んでいきたい。また、現在なるべく市内で就職する機会を増やそうと、中学生対象の「ふるさと未来塾」や高校生、大学生対象の「企業見学ツアー」も行っている。郊外、郊内関係なしに市内でできるだけ就職する機

会を創出していきたい。

Q 駅整備に関して様々な意見があるが、賛成派も反対派も互いの意見を理解し合う場が必要ではないか。

A 地域の組織だけでなく多様なジャンルで市民が集まり、意見を交わすことは、住民自治の推進としても大切。本年度も市民の対話をコーディネートするような人材、ファシリテーターの養成講座等も実施している。行政と市民、市民と市民の意見を交わす場の創生は支援をしていきたい。

他に「新型コロナウイルス感染症の対応」について質問しました。



菊川駅整備計画イメージ図